

新型コロナウイルス感染症対策に係る
国分科会ステージ及び熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、国分科会ステージ及び熊本県リスクレベルは、**国分科会ステージ2（レベル3警報）**とします。

【概要】

1 県内の感染状況

期 間	新規感染者数	うちリンクなし 感染者数
6月17日(木)～6月23日(水)	37名	14名

2 国分科会ステージ及び熊本県リスクレベルについて

前回（6月18日発表）	今回（6月25日発表）
国分科会ステージ3 （レベル5 厳戒警報） なお、感染状況は減少傾向が見られる。	国分科会ステージ2 （レベル3 警報） なお、感染状況は減少傾向が見られる。

3 県民の皆様へのお願い

本県の感染状況について、国分科会指標は全てステージ3基準を下回る状況が継続しています。また、熊本市における病床使用率もステージ2を見通せる状況となりました。これらより、国分科会ステージの判断をステージ2に引き下げるとともに、6月30日(水)を終期としていた「医療を守る行動強化期間」は、6月27日(日)をもって前倒して終了します。なお、リスクレベルはレベル3警報に引き下げます。

ただし、熊本市においては医療機関においてクラスターが発生するなど、感染は引き続き起こっています。急激な再増加を起こさないためにも、27日(日)までは油断せず時短要請等を遵守していただくようお願いします。また、28日(月)以降も、基本的な感染防止対策（飛沫感染対策としてマスク着用、接触感染対策としてこまめな手洗いや共用部の消毒等）及び全ての事業所において、症状がある従業員は仕事を休ませ、すぐに受診に繋げる体制等の継続をお願いします。

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和3年（2021年）6月25日】

1 熊本県における現状認識

国内の感染状況は減少傾向が継続しており、週当たりの人口10万人あたりの感染者数は10人を下回っている。しかし、東京都では感染者の再増加の兆しや、人流の増加も見られている。感染力が強いとされるデルタ株の報告数も各地で増加しつつあり、ワクチン接種が進んでいる状況を勘案しても、全国的にリバウンドも懸念されている。

本県の6月17日から6月23日までの感染者は37人（リンク不明感染者数は14人）、病床使用率は6月23日時点で10.9%、重症病床使用率は16.1%であり、国分科会指標は全てステージ3基準を下回る状況が継続している。また、高止まりしていた熊本市における病床使用率も6月23日時点で22.5%とステージ2を見通せる状況となった。これらより、国分科会ステージの判断をステージ2に引き下げるとともに、6月30日(水)を終期としていた「医療を守る行動強化期間」は、6月27日(日)をもって前倒して終了する。なお、リスクレベルはレベル3警報に引き下げる。

ただし、熊本市においては医療機関においてクラスターが発生するなど、感染は引き続き起こっている。急激な再増加を起こさないためにも、27日(日)までは油断せず時短要請等を遵守していただくようお願いする。また、28日(月)以降も、基本的な感染防止対策（飛沫感染対策としてマスク着用、接触感染対策としてこまめな手洗いや共用部の消毒等）及び全ての事業所において、症状がある従業員は仕事を休ませ、すぐに受診に繋げる体制等の継続をお願いする。

前回（6/18発表）	今回（6/25発表）
<p>国分科会ステージ3（レベル5 厳戒警報） なお、感染状況は減少傾向が見られる。</p>	<p>国分科会ステージ2（レベル3 警報） なお、感染状況は減少傾向が見られる。</p>

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (6月24日現在)

- 国内の感染状況は減少傾向が継続しており、週当たりの人口10万人あたりの感染者数は10人を下回っている。しかし、東京都では感染者の再増加の兆しや、人流の増加も見られている。感染力が強いとされるデルタ株の報告数も各地で増加しつつあり、ワクチン接種が進んでいる状況を勘案しても、全国的にリバウンドも懸念されている。
- 熊本県の6月17日から6月23日までの感染者は37人（リンク不明感染者数は14人）、病床使用率は6月23日時点で10.9%、重症病床使用率は16.1%であり、国分科会指標は全てステージ3基準を下回る状況が継続している。また、熊本市における病床使用率も6月23日時点で22.5%とステージ2を見通せる状況となった。これらより、国分科会ステージはステージ2に引き下げ、リスクレベルはレベル3警報に引き下げることが妥当である。
- 県内の感染状況の改善から、県においては、「医療を守る行動強化期間」を前倒して終了することとされ、対策も一部緩和を決定された。経済とのバランスの側面や、県民や事業者の皆様へ過度な行動制限は避けるべきとの観点から、そうした判断は必要と考える。
- ただし、現状においては、国の専門家も、大都市部の人流増加やデルタ株等の増加によるリバウンドを強く警戒しており、熊本県においても、感染の再増加への警戒を怠ってはならない。
- 県・熊本市においては、感染の再増加が起こらないよう、基本的な感染防止対策の徹底の啓発や、デルタ株等の現状把握のための検査体制の構築・維持、先般開始された飲食店の感染防止対策認証制度の周知等について、着実に取り組みを進めていただきたい。
- また、現在、高齢者を中心にワクチン接種を進められているが、現在使用されているワクチンには明確な重症化予防効果が確認されており、高齢者の方の命を守ることができるほか、医療への負荷軽減により、一般医療の健全な維持に繋がり、全体へのメリットも大きい。7月末までに、希望される高齢者全員への接種を終えられるよう、迅速かつ円滑な接種体制の確保をお願いする。

【国新型コロナウイルス感染症対策分科会の示す感染状況の指標】

	医療提供体制等の負荷				感染の状況				早期探知指標
	①医療の逼迫具合			②療養者数	③検査陽性率		④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合	新規陽性者数の前週今週比 今週先週比が1.0を超える状況が継続する場合には注意が必要
	入院医療		重症者用病床		県内全検査	行政検査等※2			
	確保病床使用率	入院率※1	確保病床使用率	週移動平均			週合計	直近一週間	
ステージ4	50%以上	25%以下	50%以上	524人以上	10%以上	—	437人以上	50%以上	
ステージ3	20%以上	40%以下	20%以上	349人以上	5%以上	—	262人以上	50%以上	
ステージ2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階								
ステージ1	医療提供体制に特段の支障がない段階								
6月23日	10.9%	77.1%	16.1%	83人	1.0%	5.8%	37人	14人(37.8%)	0.90
6月16日	15.4%	80.5%	16.1%	113人	1.0%	5.9%	41人	18人(43.9%)※3	0.58
6月9日	30.4%	80.1%	25.0%	226人	1.5%	8.2%	71人	23人(32.4%)	0.37
6月2日	47.3%	57.0%	48.2%	493人	3.3%	10.7%	194人	77人(39.6%)	0.50
5月26日	62.8%	43.2%	42.4%	727人	—	14.6%	390人	150人(38.5%)	0.60
5月19日	56.2%	32.1%	39.0%	879人	—	15.6%	645人	303人(46.9%)	0.91
5月12日	49.3%	31.9%	33.9%	771人	—	19.1%	705人	363人(51.5%)	2.46

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上（174人）の場合に適用
 ※2 行政検査及び医療機関で陽性が確認された検査の陽性率(参考値)
 ※3 調査結果を受け、6/18公表資料より修正

【熊本県リスクレベル基準】

【目的】患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策の考え方・方向性	想定状況
レベル5 厳戒警報	県内で ①新規感染者 150 名以上 かつ ②病床使用率 25% 以上 等	・重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。 ・大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。 ・メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。	複数の大規模クラスターの発生
レベル4 特別警報	県内で ①新規感染者 50 名以上 かつ ②リンク無し感染者 25 名以上	・地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。 ・メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。	感染の更なる拡大と、クラスターの散発/連鎖
レベル3 警報	県内で ①新規感染者 30 名以上 又は ②リンク無し感染者 15 名以上	・地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。	感染の拡大と、小規模クラスターの発生
レベル2 警戒	県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	・新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発	
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	・日常的な対策を啓発	

※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を行う場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

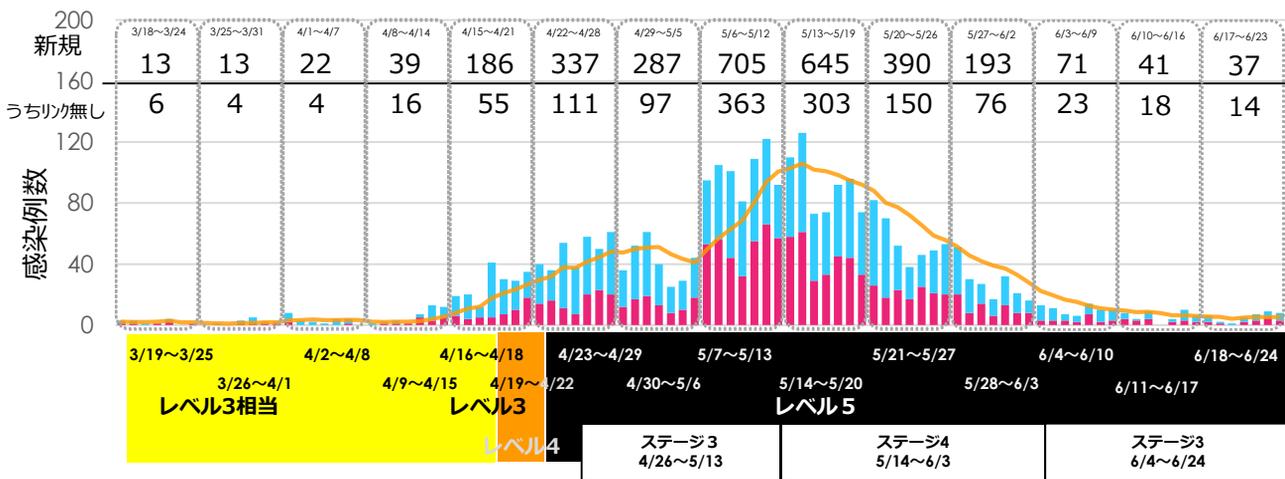
※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した6指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（3/18~6/23）：確定日ベース】

■ 新規感染例数 ■ リンク不明感染例数 — 新規感染例数7日間平均



- ・リンク無し感染者数は、調査により変動することがあることに注意
- ・木曜日～翌水曜日までの陽性者数を集計

【保健所ごとの感染例の確認状況】

保健所名	これまで	6/17~6/23		保健所名	これまで	6/17~6/23	
		陽性者数	人口10万人※あたり			陽性者数	人口10万人※あたり
熊本市保健所	3651	17	2.3	宇城保健所	241	7	6.7
有明保健所	608	2	1.3	八代保健所	306	2	1.5
山鹿保健所	213	2	4.0	水俣保健所	154	0	0.0
菊池保健所	551	6	3.2	人吉保健所	148	0	0.0
阿蘇保健所	131	0	0.0	天草保健所	76	0	0.0
御船保健所	345	1	1.2	計	6424	37	2.1

※…各保健所管内の人口は平成31年4月1日のものを使用

3 県民の皆様へのお願い（6月25日発表）

熊本県の状況は、**国分科会ステージ2（レベル3警報）**です。

また、感染状況は、減少傾向が見られます。

医療提供体制の負荷を十分減少させるため、下記の対策に御協力をお願いします。

下記の対策は、6月27日(日)をもって終了します。

28日(月)以降は、**基本的な感染防止対策を中心とした対策に移行します。**

医療を守る行動強化期間

期間：6月14日(月)～6月27日(日)

【30日までとしていましたが、前倒して終了します】

1 基本的な感染防止対策の徹底

- ① 症状がなくとも、マスク着用
- ② こまめな手洗い・手指消毒
- ③ 発熱時は仕事等を休み、すぐにかかりつけ医等に電話相談！

- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・マスク着用、手洗い、人と人との距離の確保等の感染防止対策を徹底してください。
- ・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底してください。
- ・厚生労働省がリリースした接触確認アプリの積極的な利用をお願いします。



©2010 熊本県 くまモン

2 移動・外出は慎重に

【移動】

全ての県外への不要不急の移動(※)を控えてください。
特に、緊急事態措置区域及びまん延防止等重点措置適用区域との往来は厳に控えてください。

【外出】

- ・熊本市においては、日中も含めて不要不急の外出(※)を控えてください。特に、午後9時以降は徹底してください。
- ・全県において、高齢者等とその家族は、不要不急の外出(※)を控えてください。
- ・外出時は、感染防止対策を徹底してください。

※ … 医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要な場合を除きます。

3 会食はリスク大！特に注意しましょう

会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、下記に留意して実施してください。

- ①なるべく普段から一緒にいる人と
- ②人数を絞って
- ③「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」を遵守して

県内全域で、深夜遅くまでの飲酒や会合など、感染拡大につながる行動を控えてください。

感染防止対策が講じられていない飲食店は利用しないようお願いします。

熊本県作成 会食時の感染リスクを下げる4つのステップ

飲酒を伴う懇親会や大人数での飲酒、長時間におよぶ飲食等は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場合に該当しますが、様々な工夫と一人一人の心がけで、感染リスクを下げることは可能です。
感染リスクを下げる4つのステップをみんなで見守りましょう！

STEP1 予約時に下げる！

- お店を予約する際に、感染防止対策を実施しているお店が確認しましょう。
- ▶ 感染防止対策を実施しているお店は、ステッカーの掲示等で確認できます。
- 動物の排泄物との接触を減らすため、部屋を別にし、1階・2階などで空室を分けるなどの対応が可能なお店を推奨しましょう。
- 大人数（5人以上）での会食の場合は、テーブルを分ける、席の配置を斜め向かいにする、席と席の間にアクリル板を設置するなどの対応が可能なお店と相談しましょう。

テーブルを分ける

席の配置を斜め向かいにする

アクリル板を設置する

STEP2 会食前に下げる！

- 発熱等の症状の有無を確認し、体調の悪い人は参加しないようにしましょう。
- 入店時に手消毒を行い、マスクを着用し、すぐに着席しましょう。

STEP3 会食中に下げる！

- 食事中でも、会話をする際はマスクを着用しましょう。
- ▶ 食事の時間と会話の時間を分けるなどの工夫が効果的です。
- 大声での会話や席の移動は控えましょう。
- 箸やコップの使いまわしはやめましょう。
- 深酒は控えましょう。アルコールを飲みすぎの人がいたら、ソフトドリンクを勧めましょう。
- 飲酒のペースで参加者の気分を察し、マスク無しの会話や大声での会話が行われるなど、感染防止対策が実施されない状況になったら、早めにお開きしましょう。

STEP4 会食後に下げる！

- はしご酒は控えましょう。
- 帰宅直後の手洗いや入浴により、家屋内にウイルスを持ち込まないようにしましょう。
- 万が一、発熱等の症状が出た場合は、かかりつけ医等に電話相談のうえ、医療機関を受診しましょう。また、幹事等に連絡し、参加者と情報共有しましょう。

4 飲食店事業者の皆様への要請

【時短要請】

熊本市全域の午後9時以降も営業する酒類を提供する飲食店について、午後9時から翌日午前5時までの間、営業をしないよう要請します。
(酒類提供のオーダーストップは午後8時30分)

営業時短要請



【感染対策】

全県において、県が示す「感染防止対策チェックリスト」や業界団体が示す「業種別ガイドライン」を参考にした感染防止対策を徹底してください。

チェックリスト



5 イベントの開催について

- ・ 県の「イベント等の開催に係る留意事項について」を参考とし、感染防止対策を徹底してください。
- ・ 全国的な人の移動を伴うイベント又は参加者が1,000人を超えるイベントの開催を予定する場合、施設管理者又はイベントの主催者は県に事前相談してください。
- ・ 下記の上限人数・収容率を遵守してください。

【人数上限】 5,000人以下

【収容率】

大声での歓声・声援等が想定されるもの
ロック・ポップコンサート、スポーツイベント、公営競技、公演、ライブハウス・ナイトクラブのイベント等

50%※以内

大声での歓声・声援等がないことを前提としうるもの
クラシック音楽コンサート、演劇、舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、公演・式典、展示会等

100%以内

※…異なるグループ又は個人間では座席を1席空けることとしつつ、同一グループ（5人以内に限る）内では座席等の間隔を設ける必要はない。すなわち、収容率は50%を超えることもありうる。

6 その他

事業者

業種別ガイドラインの遵守を要請
テレワーク・時差出勤等の取組みの協力依頼
職場における感染防止のための取組み（手洗いや手指消毒、換気励行、テレビ会議の活用、昼休みの時差取得等）徹底の協力依頼

学校

大学を含む学校に対し、感染症対策を講じてもなお感染リスクの高い活動の自粛の検討を依頼
部活動において対外活動の制限を依頼

高齢者施設

オンライン研修等による、感染防止対策実施を要請
従業員にわずかでも症状がある場合、確実に仕事を休ませる体制構築を要請
高齢者施設等の従事者へのPCR検査等の積極的受検の要請

県有施設

基本的に県有施設を休館
（国でも時短要請の対象外とされている図書館を除く）

（「医療を守る行動強化期間」の対策は以上です）

上記の対策は、6月27日(日)をもって終了します。
28日(月)以降は、基本的な感染防止対策を中心とした対策に移行します。

事業者の皆様へ

業種別ガイドラインにより感染防止対策を行う際には、マスク着用などの飛沫感染対策に加え、コンピューターや共用物品・設備などによる接触感染にご注意ください。

また、業種によらず従業員にわずかでも発熱等の症状がある場合、確実に仕事を休ませ、受診につなげる体制を構築することが非常に重要です。

県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんでいる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがどこでも感染する可能性があります。

感染された方やその御家族、職場関係の方々に責任はありません。不当な扱いや嫌がらせ、誹謗・中傷などは絶対にならないよう、お願いします。

熊本市の状況と対策

- 熊本市においては感染者は減少していますが、医療機関におけるクラスターも発生しており、リンク無し感染者の割合も高い状況です。中心市街地における人流も増加しており、感染のリバウンドも懸念されます。

6月27日をもって「医療を守る行動強化期間」を終了しますが、感染の再増加を防ぐため、基本的な感染防止対策の徹底など特に注意が必要です。

下記の対策等は、6月27日（日）までとなります。

【対策】

- ・酒類提供飲食店の営業時間の短縮要請に関する制度周知など県市連携して取り組みます。
- ・熊本市において、次のとおり取組を進められています。
 - ✓熊本市有施設の基本的な休館
 - ✓熊本市主催のイベントの中止または延期
 - ✓学校の部活動における感染対策の徹底
 - ✓公用車による巡回・声掛けや夜間巡回指導員による広報啓発活動の実施
 - ✓感染拡大地域など県境を越えて移動された方を主な対象として、熊本駅等でモニタリング検査の実施
 - ✓中心部の商店街と連携したPCR検査の勧奨や、大学と連携した大学生向けの感染防止対策の周知広報・PCR検査など、中心部歓楽街や若者を対象とした感染防止対策の実施
 - ✓高齢者施設等従事者に対する緊急PCR検査の継続実施、入所系の高齢者施設等従事者に対するPCR検査の頻回実施
 - ✓県と連携し、入院患者受入病床や後方支援医療機関の更なる確保に向けた継続的な実施
 - ✓ワクチン接種の着実な実施

【熊本市からの要請】

熊本市から、熊本市民のみなさまに対し、次のとおり要請されています。

- ・ **基本的な感染防止対策**を再度徹底してください（手洗い・消毒・マスク着用等）
- ・ **日中も含めた不要不急の外出や移動は控えてください。特に午後9時以降は徹底**してください。
- ・ **買い物は、混雑する場所や時間を避け、少人数・短時間で済ませてください。**
- ・ **飲食宅配サービス**を積極的にご利用ください。
- ・ **路上や公園等における集団での飲酒はやめてください。**
- ・ 職場において、**業種別ガイドライン**等を参考に、**感染防止対策の徹底**を再度確認してください。また、**在宅勤務（テレワーク）**や**ローテーション勤務**等を推進してください。
- ・ **高齢者施設にお勤めの方は、感染者の早期発見の観点から本市が実施している定期的なPCR検査**を是非受検いただくようお願いいたします。
- ・ 仕事等で**越県移動された方**については、熊本駅等で実施する**モニタリングPCR検査**を受検いただくようお願いいたします。